

東部地区交通協議会議事要旨

名 称	令和6年度 第1回東部地区交通協議会
日 時	令和6年7月29日（月）19：00～20：30
会 場	田道ふれあい館 3階 第2・3会議室（田道住区会議室）
出席者 (敬称略)	協議会委員 目黒三田町会 三柴、澤井、池田 田道住区住民会議 宗方 厚生中央病院 宮下 目黒区都市基盤整備課 山下、浅岡、庭田 コンサルタント 一守、木元
配付資料	資料1 関係機関との調整経過（地域公共交通会議） 資料2 さんまバス利用実績 資料3 周知活動の取組 資料4 実証運行への意見について 資料5 利用者増加に向けた取組（案） 資料6 今後の進め方 ※後日、欠席者宛て資料送付済。
会議次第	1 経過等 （1）関係機関との調整経過について 2 議題 （1）さんまバスの利用実績について （2）周知活動の取組について （3）実証実験運行への意見について （4）利用者増加に向けた取組(案)について （5）今後の進め方について
会議の結果 及び 主要な発言	1 経過等 （1）関係機関との調整経過について ・ 令和5年度第2回目黒区地域公共交通会議において、東部地区地域交通バスの運賃変更等についての報告を行い、委員からの意見等を報告。 2 議題 （1）さんまバスの利用実績について 実証運行開始後の利用人数・利用率について報告、目標値に届いていないが、7月から増便（12便）を行ったため、今後の利用動向に留意し、利用促進等に取り組むこととした。 （2）周知活動の取組について ・ さんまバス認知度向上への取組として、協議会構成員によるイベントでの周知活動やリーフレットの配布・チラシの掲示、バスのラッピング広告等への協力が行われ、区でもメディア等での広報対応を行った。

会議の結果 及び 主要な発言	(3) 実証実験運行への意見について ・ 運行開始後に頂いた主な意見を紹介し、対応策として運行ルートやバス停の箇所および便数の見直し、情報提供の強化等を検討していくこととした。 (4) 利用者増加に向けた取り組み（案）について ・ 利用率の向上に向けて、現状報告やモデルルートといった情報提供を行う広報資料を作成し、モデルルートは協議会や近隣住民の意見から作成することとした。 (5) 今後の進め方について ・ 令和6年度の運行計画について説明し、実証運行の意向調査として、住民アンケートを実施することとした。今後は利用率向上のために、沿線施設と連携したバス利用機会の醸成や収入確保のための仕組みづくり等の「利用者増加に向けた取組（案）」について、協議会として取り組むこととした。 以 上
-------------------------------	---